

令和 7 年度生涯教育研修 1 日目 報告

日 時： 令和 7 年 9 月 21 日(日) 10：00 ～ 16：30

方 法： 対面

会 場： ウィンクあいち 会議室 1309

参加者： 13 名(うち、1 名欠席)

内 容： 第 1 部「研究の意義と研究計画の作り方～データのまとめから報告・研究発表まで～」

講師：名古屋文理大学 北川絵里奈 先生

第 2 部「EZR の使い方」(演習)

講師：三重大学教育学部附属小学校 上島寛之 先生

1 年を通して3回の開催を予定している本会、1日目が開催されました。日本栄養改善学会東海支部会との共催で開催され、12 名の方が参加されました。

最初に、生涯教育委員長である後藤千穂氏(日本栄養改善学会東海支部会支部長)より挨拶があり、その後、高橋圭先生(名古屋文理大学)より当日の流れについてご説明がありました。また、研修会の終始において松下英二先生(名古屋学芸大学)が手厚く支えてくださいました。



第 1 部では、北川先生から現場での活動(実践)を通して、疑問に思ったことを調べたり、成果をまとめたりすることが「実践栄養学研究」であることを示していただきました。講義では、研究計画の作り方を順追って解説いただき、研究を始める前に計画を立案する際の具体的な注意点についても詳細にご

指導いただきました。

第 2 部では、パソコンを使った演習を行いました。上島先生から参加者一人ひとりのペースに合わせて解説をいただき、不慣れな操作の中、用意いただいた課題をすべての参加者が体験できました。

本研修は終日開催であったため、昼食を挟んだ休憩時間が設けられました。休憩時間中も、参加者同士が積極的に研修内容を確認し合い、情報交換を行うなど、学びに対する強い意欲が随所に見られました。参加者の皆様の熱意に感銘を受けるとともに、終始熱気に包まれた大変実り多い



一日となりました。

熱心にご指導いただいた講師陣には、この場を借りて心より感謝申し上げます。

（報告者：内林英子）